取扱説明書 ―― 保管用

yamada

蛍光灯ブラケット

（壁付け専用型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

型　番	適合ランプ	最大送り容量	適合電線	定 格 電 圧	定格周波数
BF-2126	FHP45W+FL20W ＋保安球(5W)	10A	VVFケーブル φ1.6，2.0	AC100V(±6%)	50Hzまたは 60Hz

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書の中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書の中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱いの注意

⚠ 警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

ボルト止め専用器具です。それ以外の取り付け方はできません。
★器具の落下による、器具その他の破損やケガの原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
〇壁面以外の場所。　〇補強材の無い場所への取り付け。
〇石膏ボードなど弱い建材面への取り付け。　〇凹凸のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による、器具その他の破損やケガの原因となります。
〇サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

取付方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「ケガ」の原因となります。

ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、
改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

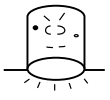
⚠ 注意

この器具は周囲温度５℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火の原因となります。

この器具はAC100V専用で50Hz、60Hzの器具がありますのでHzに合ったものをお使いください。
★指定の電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯(チラつきや立ち消えなど)や調光器、照明器具の故障の原因となります。

温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

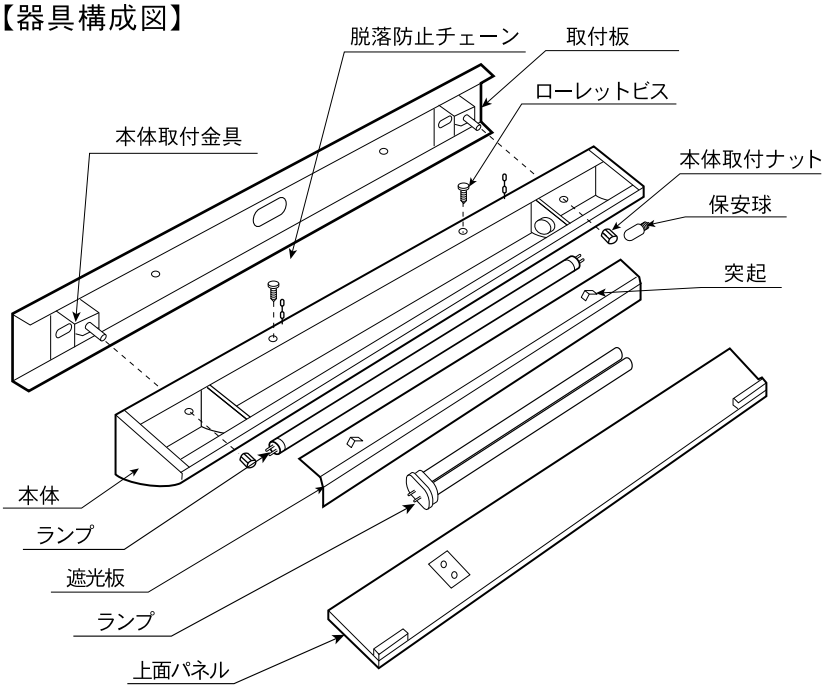


ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

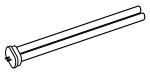
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

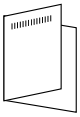
各部の名称
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

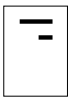
【器具構成図】



【付属品】


蛍光ランプ
FHP45EXN・・・・・・・・・・・・・・・・1本


取扱説明書(本書)・・・・・・・・・1枚

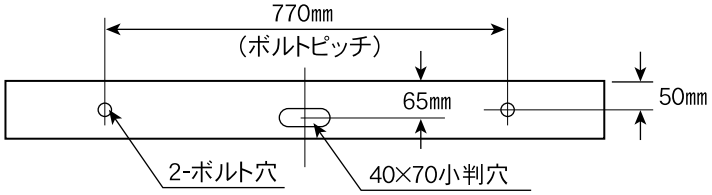

保障とアフター
サービスについて・・・・・・・・・・・・1枚

ビニール手袋 ・・・・・・・・・・・・1組

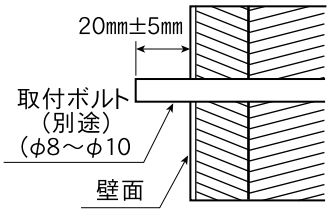
取り付け場所の確認

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、重量の耐える所に説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。

■取り付けピッチと電源位置

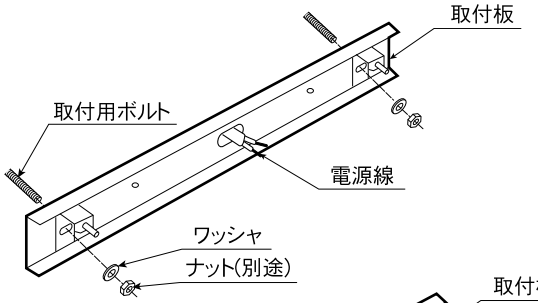


■取り付けボルト出し寸法



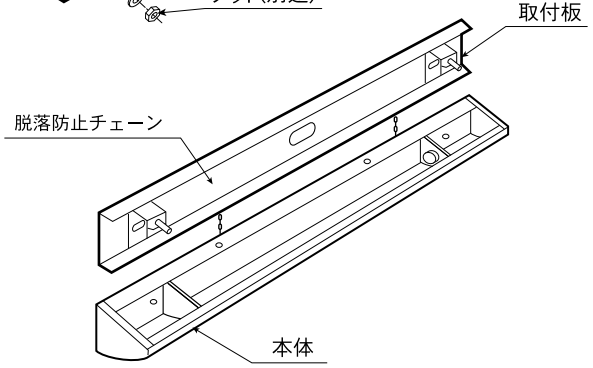
取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「ケガ」や火災、感電事故の原因となることがあります。



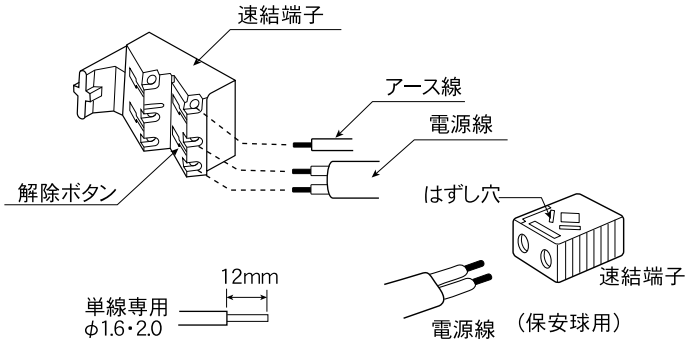
1.本体を取り付けます。

①電源穴より電源線を引き込んでください。
②取付板を取付ボルト(別途)に通してワッシャ、ナットで確実に締めこんでください。



2.脱落防止チェーンの取付

①本体についている脱落防止チェーンを取付板に引っ掛けます。

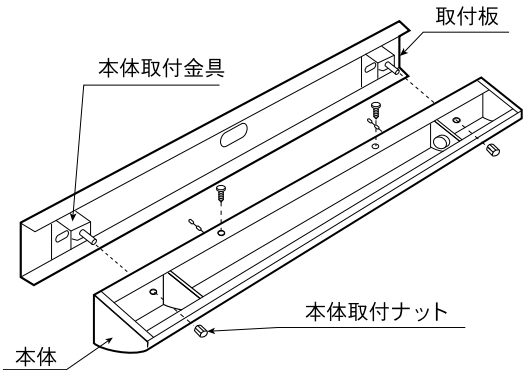


3.電源線を接続します。

⚠ 警告

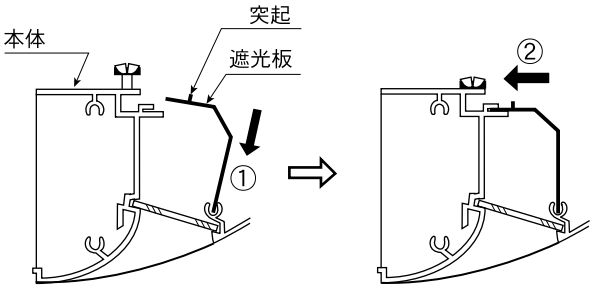
端子に差し込むケーブルは、必ずVVFφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線,汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

①電源線・アース線を速結端子のゲージ(12㎜)にあわせ剥きます。
②電源線・アース線を電源線差し込み穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、解除ボタンを押すとはずれます。
保安球用の端子台は、幅６㎜のマイナスドライバーをはずし穴へ真っすぐ差し込むとはずれます。



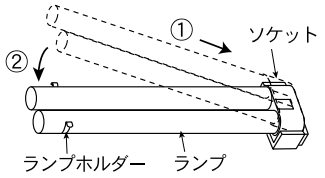
4.本体を取り付けます。

①本体を取付板の本体取付金具にはめ込みます。取付板に引っ掛けチェーンが外れないように注意してください。
②本体取付ナットで締め付けてください。



5.遮光板を取り付けます。

①遮光板の突起を上にして本体にはめ込んでください。

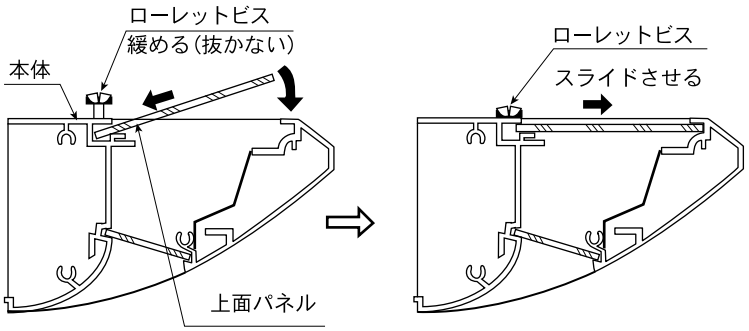


6.ランプ(FHP45W)をセットします。

ランプソケットの可動部を上げて、ランプを斜めに挿入し、ランプを押し下げてランプソケットに確実に取り付けてください。
(必ずランプのランプホルダーとランプソケットの近くを両手で持って行ってください。)
ランプをランプホルダーに確実に差し込んでください。

⚠ 注意

ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。



7.上面パネルを取り付けます。

①上面パネルを本体に差し込んでください。
②上面パネルをスライドさせてください。
③ローレットビスを締め付けてください。

スイッチ操作

壁スイッチ(別途施工)にて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

お手入れについて　⚠ 注 意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう、暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。
●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠ 注 意

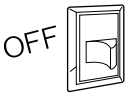
❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。**★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

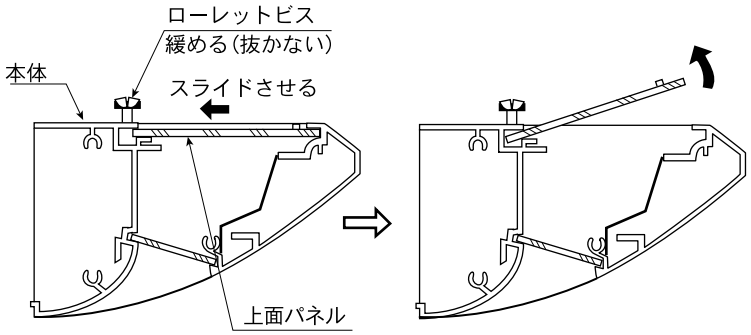
●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると、不点灯や点灯不良(チラつきや立ち消えなど)の原因となります。また、インバータの異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

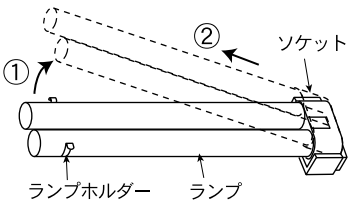
1. スイッチを切ります。



2. 上面パネルをはずします。



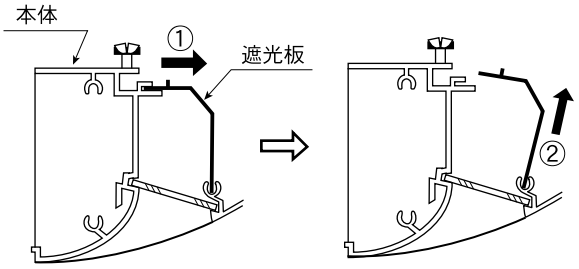
3. ランプ(FHP45W)をはずします。



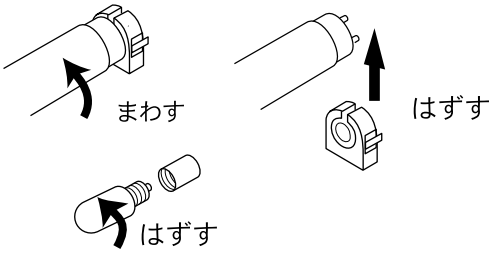
⚠ 注意 ❗

ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れて「ケガ」をする恐れがあります。

4. 遮光板をはずします。



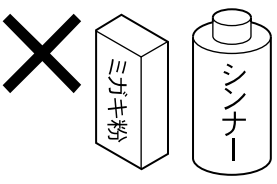
5. ランプ(FL20W)と保安球をはずします。
保安球は左にまわしてはずします。



6. 新しいランプをセットし、遮光板、上面パネルを取り付けます。
裏面の『●取り付け方』の「5.7ランプをセットします」と「6.8遮光板、上面パネルを取り付けます。」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでご確認ください)、**故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。